

重要取組シート

取組項目		多様な教育・保育ニーズへの対応
現状・課題		<p>○令和 7 年 4 月 1 日現在の待機児童数は 0 人（5 年連続で待機児童数ゼロ）、保留児童数 716 人。</p> <p>○令和 7 年 4 月入所の新規利用児童における決定施設希望順位は、第 1 希望の割合は 79.3%、また、第 3 希望までの割合は 94.8%となった。</p> <p>【課題】</p> <p>○待機児童数ゼロを前提としつつ、子育て家庭の保護者満足度を向上させる取組の推進が必要となっている。</p> <p>○地域における保育ニーズと受け入れ枠のミスマッチを解消し、少しでも希望上位の施設に入れるよう、施設選びのための情報収集における保護者負担の軽減を図る。</p> <p>○こども誰でも通園制度について、今年度から試行実施し、令和 8 年度の本格実施がより良い制度として円滑に導入できるよう検討する。</p>
取組の内容		<p>○保護者が希望する条件に合致する施設情報をもれなく得ることができるように、親子さかすくナビなどを活用した幅広い情報発信</p> <p>○保護者の希望施設の選択肢が広がるように、施設の入所しやすさの指標公表</p> <p>○入園説明会の日程一覧の公表、YouTube での施設紹介動画の公開促進</p> <p>○認定こども園・保育所等の利用申込の結果通知のオンライン化</p> <p>○こども誰でも通園制度を公立施設・民間施設の双方において、試行的に実施</p>
スケジュール	前期 (～9 月)	<p><input type="checkbox"/> 待機児童数の確定（5 月）</p> <p><input type="checkbox"/> 入園説明会の日程一覧の公表（6 月）</p> <p><input type="checkbox"/> YouTube での施設紹介動画の公開促進（～7 月）</p> <p><input type="checkbox"/> こども誰でも通園制度の事業者等公募及び事業開始（～7 月）</p> <p><input type="checkbox"/> 施設の入所しやすさの指標（年間空き情報・就学先小学校）の公表（9 月）</p>
	後期 (～3 月)	<p><input type="checkbox"/> 認定こども園・保育所等の利用申込の結果通知をオンラインで実施（1 月）</p>
	次年度以降	<p><input type="checkbox"/> 地域における多様な教育・保育ニーズへの対応に向け、保護者満足度の向上や教育・保育内容の充実等を引き続き実施</p> <p><input type="checkbox"/> こども誰でも通園制度の本格実施</p>
進捗の状況	前期 (～9 月)	<p><input type="checkbox"/> 待機児童数の確定（5 月）</p> <p><input type="checkbox"/> 入園説明会の日程一覧の公表（6 月）</p> <p><input type="checkbox"/> YouTube での施設紹介動画の公開促進（～7 月）</p> <p><input type="checkbox"/> こども誰でも通園制度の事業者等公募及び事業開始（～7 月）</p> <p><input type="checkbox"/> 施設の入所しやすさの指標（年間空き情報・就学先小学校）の公表（9 月）</p>

(様式 4)

	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	3-(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実		
	寄与する KPI	保育所等待機児童数〔現状値：11人（2020年度）、0人 （2021年度）〕		目標値（2025年度） 0人
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに	
	寄与する KPI	—		目標値（2025年度） —